

第4回 丹波市春日地域市立小学校統合検討委員会 次第

日時：令和8年2月10日（火）19時30分～
場所：春日福祉センター「ハートフルかすが」

1 開会

2 前回会議について

- ・資料1 前回会議の簡略まとめ

3 報告・協議事項

- (1) 船城小学校と黒井小学校の統合検討について（黒井・船城地域部会）
- (2) 春日地域市立小学校の在り方に向けた議論の進め方について（意見交換）
 - ・資料2 第3回検討委員会グループワークで出た意見
（前回のテーマ：『今後の春日地域市立小学校の在り方について』）

(3) その他

4 次回委員会の日程について

- ・日 時 月 日 () 19時30分～
- ・場 所

5 閉会

第3回検討委員会(全体会) (令和7年11月18日)の簡略まとめ

1 主な内容

- ・10月17日に開催された第1回黒井・船城地域部会の内容について、委員から報告された。
- ・『今後の春日地域市立小学校の在り方』をテーマに、A～Eの5グループに分かれて委員で意見交換された。
- ・グループで意見交換した後、各グループで出た意見をそれぞれ発表された。

2 各グループで出た意見(抜粋)

- ・春日地域で将来的に1校ということを考えていくべきではないか。
- ・認定こども園単位で考えてみるのはどうか。
- ・統合しても地域の特色を学べる教育をしてほしい。
- ・こどもを中心に考えていくべき。
- ・春日地域で1校、小中一貫教育がよいのでは。 など

1

第3回検討委員会(全体会) (令和7年11月18日)の簡略まとめ

3 事務局から事務連絡(2点)

- ・令和8年度検討委員会委員の報告について、令和8年2～3月頃に書面による依頼を行う。
- ・これまでの会議で委員から要望があったことを踏まえ、検討委員会の協議状況や経過を記載した「春日地域市立小学校統合検討委員会だより」を発行する。なお、内容については正副委員長に確認し、配布については各自治協議会を通じて各自治会に配布をお願いしたい。

4 今回会議のまとめ

- ・今回のグループワークで出た意見を事務局でまとめて、今後の会議資料として協議を進める。
- ・「春日地域市立小学校統合検討委員会だより」を発行する。

2

第3回検討委員会(全体会)のグループワークで出た意見 (模造紙の内容)

※黄色マーカー箇所は将来の在り方に関すること

A

- ・将来を見据えると、春日地域で1校とする。
- ・遠い将来、春日地域で1小学校
- ・黒井・船城だけでなく、進修・春日部・大路も考えていく必要がある。将来的には春日一本化も考えていく必要がある。
- ・まずは花の子園地域と森の子園地域の統合(2小学校)
- ・説明会の規模と方法(自治会単位)
- ・地域の合意形成の順序や方法
- ・統合までの各小学校へのフォロー
- ・統合するまでに交流会を沢山設け、不安を解消させる。
- ・オープンクラス
- ・小中一貫校
- ・春日地域なら子供たちの自由選択
- ・春日中の近くに春日小を作ってほしい。統合が一回で済む。
- ・校舎、校名変更をどうするか。
- ・学校が閉まる地域の活性化
- ・こどもの意見
- ・統合後の地域をどうするのか。地域交流が心配
- ・説明会をするのか、現状の報告が先か、アンケートを出すべきか迷っている。
- ・統合後、今と同じ教育を受けられるのか。
- ・地域部会を黒井・船城の西部だけでなく東部も。

B

- ＜勉強会＞
 - ・有識者(民生委員、児童委員)メリット、デメリット
 - ・統合した学校の見学、統合委員会メンバーの方との意見交換
 - ・統合した学校の児童、保護者、先生の話聞く場
 - ＜認定こども園＞
 - ・花の子園→黒井・船城
 - ・森の子園→春日部・進修・大路
- 認定こども園ができた経緯、どのように地域分けしたのか。

E

- あり方ってなに！？
- ↓
- 春日で1つの小学校ー中学の横に小学校
- ↓
- キャンパス制度
- ・他の3校区の興味をいかに高めるか。
 - ・1校9年制
- ・先に黒井・船城をどうしたら統合できるかを考える。
- 委員会
- 校章部会 校歌部会 黒井・船城部会 場所部会

C

- ・こども園区域での統合、その後は1校へ統合
- ・最後は春日1校
- ・今後は春日町で1校に。
- ・将来的には1校に。
- ・1校にする時は春日の中心地区で。
- ・最初は地域、地形で。
- ・統合はどこでも自由に。
- ・春日地区外でも丹波市であるので市島地区の小学校でも。
- ・小学校で複式学級でない所も考える必要有
- ・丹波市内の小学校を自由選択できるように。
- ・町外の小学校への通学も可としてほしい。
- ・少子化が進んでいるので船城、黒井以外も進行すべき。
- ・とりあえずこども園単位で。
- ・各地域の特色が学べる学校
- ・地域性を残した合併を。
- ・子どもたちが楽しく学べる環境をつくってほしい。
- ・不登校児童もフォローできるように。
- ・多人数で学習、生活する事により、社会性を育ててほしい。
- ・どんな統合でも丹波市教委が対応してくれるので、あまり心配しなくてもよい。

D

- 【統合に向けて】
 - ・今後10年、20年後になると春日は2つの小学校になることになる。
 - ・森の子は大路、進修、春日部、花の子は黒井、船城と分けられているのでこのセットで統合すれば子供たちも離れ離れになることがないのでいいと思う。
 - ・大路、進修、春日部も今すぐにはないが、統合することを少しずつ考えるべきだと思う。
 - ・春日も小学校の統合に向けて進むべきだ。春日地域に1小学校を。
 - ・春日地域の中で統合を何回か繰り返すと費用もかさむし、校歌など何度も作り直さなければならない。
- 【地域のあり方】
 - ・地域から学校がなくなると地域が衰退するのではないかと心配もあるが、以前ほど心配は少なくなってきたように思う。
 - ・人口の減少、高齢化率の上昇は若い人が少なくなる。学校の規模も大きな要因
 - ・地域、地区、自治会の境界がなくなってくるのでは。学校の境界もなくなるのでは。
- 【こどもの事を考えて】
 - ・統合に向けては、地域住民の意見もさることながら、こどもを持つ保護者の意見を最優先すべきである。
 - ・船城、黒井は少しでも早く統合すべきだと思う。年配者、大人の気持ち、プライドを優先するよりもこどもたちの事を一番に考えるべきだと思う。
 - ・メリット、デメリットは表裏一体。子ども中心に考えるべき。
- 【地域住民の意見も聞きたい】
 - ・地域、自治会などの意見が想像できないので視野が広がらないので意見を聞きたい。
 - ・今までの大路小学校、第1、第2小学校の合併などのこれまでの歴史を知りたい。

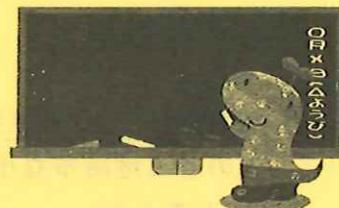
春日地域市立小学校 統合検討委員会だより

令和7年12月22日 Vol. 1

発行：春日地域市立小学校統合検討委員会
(事務局：丹波市教育委員会教育総務課)
TEL 70-0810 / FAX 70-0814

船城地区自治会長会からの要望を受けて、春日地域の小学校の統合を検討するために春日地域市立小学校統合検討委員会が設けられました。

春日地域各小学校区の自治会代表者や各小学校の保護者代表者、認定こども園の保護者代表者が委員となり、春日地域の小学校の統合について検討していますので、その概要をお知らせします。



【現在の協議経過（概要）】

○検討委員会のメンバー

- ・各小学校区の自治会代表者10名、各小学校の保護者代表者10名、認定こども園の保護者代表者5名の合計25名、その他に識見者として、学校長の代表や過去の市内の学校統合に関わった者が参加、丹波市教育委員会が事務局を担っています。

【春日地域市立小学校について】

○第1回検討委員会の概要（令和7年7月28日）

- ・委員の互選により、委員長は山川茂則氏（黒井地区自治会長会会長）、副委員長は植木和也氏（進修小学校保護者代表）に決定しました。
- ・丹波市の人口推移や小学生数の推移状況、船城地区における検討経過の概要等について、事務局より説明がありました。

【委員の意見（要旨）】

- ・市島の時の例などを参考に今後のスケジュールを決められたら。
- ・急ぐことも大事だが、じっくり考える話ではないか。
- ・船城小学校と黒井小学校の統合を検討しつつ、春日地域全体の小学校の在り方も考えていくべきではないか。 など

○第2回検討委員会の概要（令和7年8月28日）

- ・青垣地域市立小学校や市島地域市立小学校の統合経過の概要、区域外就学制度等について事務局より説明がありました。
- ・船城小学校の統合検討と春日地域市立小学校全体の考え方について、委員で意見交換しました。

【委員の意見（要旨）】

- ・市島地域の統合準備委員会のように会議状況をまとめたものを発行してほしい。

- ・船城小学校と黒井小学校の統合検討について、地域部会(仮)を設置し、そこで協議した方向性をもって全体の検討委員会で決定してはどうか。
- ・船城地区と黒井地区の地域部会(仮)も動きながら、一方で、春日地域の小学校の将来像を検討委員会全体で見いだしたい。
- ・春日地域の小学校の将来像について、継続して協議しながら勉強し、いろんな人の意見も聴いて進めていきたい。 など

【決定事項】

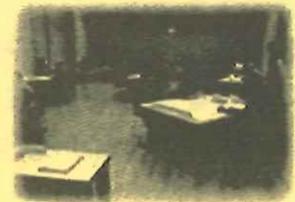
- ・春日地域の小学校全体の在り方について、検討委員会全体で今後も継続協議する。
- ・船城小学校と黒井小学校の統合検討について、船城地区と黒井地区で地域部会(仮)を設置し協議する。

○第3回検討委員会の概要(令和7年11月18日)

- ・「今後の春日地域市立小学校の在り方」をテーマに、5つのグループに分かれて委員で意見交換しました。

【グループの意見】

- ・春日地域で将来的に1校ということを考えていくべきではないか。
- ・認定こども園単位で考えてみるのはどうか。
- ・統合しても地域の特色が学べる教育をしてほしい。
- ・こどもを中心に考えていくべき。
- ・春日地域で1校、小中一貫教育がよいのでは。 など



【船城小学校と黒井小学校の統合検討について】

船城小学校と黒井小学校の統合検討について、地域部会で協議を行います。会議には、統合検討委員会の船城地区の委員と黒井地区の委員が参加しています(自治会代表者4名、小学校の保護者代表者4名、認定こども園の保護者代表者2名)。

○第1回黒井・船城地域部会の概要(令和7年10月17日)

- ・委員の互選により、部会長は山川茂則氏(黒井地区自治会長会会長)、副部会長は山田吉晴氏(船城地区自治会長会会長)に決定しました。
- ・船城小学校と黒井小学校の小学生数の推移、学校の小規模化に伴うメリット・デメリット(文部科学省資料)について、事務局より説明がありました。
- ・船城小学校と黒井小学校の統合検討について、委員で意見交換しました。

【委員の意見(要旨)】

- ・地域部会のメンバーを増やすべきではないか。
- ・今の検討委員会の委員で協議し必要に応じてメンバーの追加を検討すべきではないか。
- ・いかに早くどのように情報発信していくかを考えていきたい。
- ・こどものために小学校の教育がどうあるべきかということを中心に考えたい。 など

会議資料や会議録など詳細な内容は丹波市ホームページに掲載しています。
検討委員会だよりに関するお問い合わせは事務局(教育総務課Tel70-0810)まで



ホームページはここから

第3回丹波市春日地域市立小学校統合検討委員会

全体会議録

◇開会 令和7年 11月18日(火) 午後 7時30分

◇閉会 令和7年 11月18日(火) 午後 9時10分

◇会場 春日福祉センター ハートフルかすが大会議室

- ・委員長 山川 茂則
- ・副委員長 植木 和也
- ・委員 荻野 利直 笹川一太郎 三村 均 小西 和良
- 畑 義一 久下 拓朗 近藤 敏彦 山田 吉晴
- 穴瀬 一正 竹知 直弥 亀田真以子 山本 昌彦
- 矢持 隆次 山内 勝司 原田 雅登 芦田 巧
- 谷口 大貴 足立 賢太 大原 茉央
- ・欠席委員 岸 麻記子 井上 友海 野口 恵里 近藤 賀絵
- ・識見者 藪内文次郎 小田 敏治

[事務局]

- ・教育部長 山本 浩史
- ・学校教育課長 小森 真一
- ・教育総務課長 足立 安司
- ・教育総務課副課長兼企画総務係長 足立 真澄
- ・教育総務課学事係長 福垣 恵介
- ・教育総務課 河南 良次
- ・教育総務課 梅田 柚希

(足立教育総務課長)

それでは定刻となりましたので、ただいまより第3回丹波市春日地域市立小学校統合検討委員会を始めさせていただきますと思います。

本日の資料につきましては、事前に送付させていただいていますが、お手元に資料が無い方がおられましたら、お申し出ください。

次に、前回会議と同様に、委員の皆様方をお願い事項がございます。

1点目は、会議のご発言についてです。ご発言の際には、職員がマイクを持ってまいりますので、お名前を発せられてから、ご発言くださいますようお願いいたします。2点目ですが、本日の会議は、公開をしております。また、報道関係者による写真撮影等がある場合もありますので、ご了承くださいますようお願いいたします。最後に3点目ですが、会議の終了時刻についてです。会場は22時に閉館となります。後片付けの関係もありますので21時30分までには会議を終えたいと考えていますのでご協力をお願いします。

それでは、1の開会に入りますが、以降については、山川委員長の方でよろしく願いいたします。

次第

1 開会

(山川委員長)

皆さんこんばんは。夜分お忙しい中ご出席いただきましてありがとうございます。第3回丹波市春日地域市立小学校統合検討委員会を開会させていただきます。気温もだいぶ下がって寒くなってまいりましたので、お体に気をつけていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

それでは次第の2に移ります。事務局より前回会議について説明をお願いします。

次第

2 前回会議の主な意見

資料1をご覧ください。8月28日に開催しました第2回検討委員会の会議録になります。会議の冒頭に、複数の委員から相談があったことについて共有いただいています。特定の団体から、複数の委員あてに検討委員会に関する要望書が届いたと報告を受けまして、今後の文書の送付については検討委員会宛てとしていただくように、団体に申し入れを行うことを委員の皆様にご了承いただきました。

2ページの報告・協議事項としまして、(1)青垣地域市立小学校、市島地域市立小学校の統合経過の概要、(2)青垣・市島地域等の統合協議の整理、市島地域市立小学校の統合に係る整備内容、(3)区域外就学制度と学校選択制について、事務局より説明しました。委員の主な意見としましては、春日地域市立小学校統合検討委員会も地元説明をしていかないといけないと思うが、反対意見も出てくると思うので、市島地域ではその対応をどのようにされていたのか等の意見をいただきました。

また、他の委員の意見としまして、統合準備委員会の段階になると、教育委員会から準備委員会の決定事項等がまとめられた資料が発行されていたので、春日地域においてもこの検討委員会の段階から発行してもらえると分かりやすいという意見をいただきました。

次に3ページになります。船城小学校の統合検討と春日地域の小学校全体の考え方について、委員で意見交換の結果、船城小学校と黒井小学校の統合検討について、船城地区と黒井地区で地域部会を設置し協議することが決定しました。また、検討委員会全体では、春日地域の小学校全体の在り方について、今後も継続的に協議することが決まりました。委員の主な意見としまして、船城地区と黒井地区の合意形成がないと、この検討委員会で統合の是非が考えられない、ある程度の合意形成をとってもらってその方向性をこの検討委員会に持って帰ってきてもらってこの検討委員会で是非を問うのがよいという意見がありました。

次に4ページになります。地域部会では黒井小学校と船城小学校の統合を検討し、全体では春日地域の小学校全体を検討していく、地域部会で方針が出たらこの検討委員会に報告を上げていただくという進め方をさせていただいたという意見がありました。

次に5ページです。春日地域の小学校をどうするかも考えないといけない、春日全体で答えをもっておかないと、住民に説明した時に大路小は置きっぱなしかと言われて検討していないとは言えないので、全体会は継続して開催してほしいという意見がありました。また、この検討委員会は長くかかると思うので、統合を待つ前に今何かできることがあればしてあげることはないか、統合が決まるまでの間何かフォローしてあげられたらという意見がありました。

続いて6ページ、事務局の発言です。船城小学校と黒井小学校の統合の方向性を検討いただく地域部会を設置する。地域部会の位置づけについては、現在の設置要綱の中で定め、改正については事務局に一任いただくということで発言させていただいています。

続いて9ページになります。前回第2回の検討委員会のまとめを記載しています。船城小学校と黒井小学校の統合検討については、検討委員会の地域部会を設置する。初回は黒井地区委員、船城地区の委員だけで集まる。検討委員会の全体では、春日地域の小学校全体の今後の在り方について今後も継続的に協議する。

つづいて、前回の第2回検討委員会資料(「青垣、市島地域等の統合協議の整理」)の訂正資料をつけています。資料に黄色のマーカーを引いている箇所です。竹田・前山小学校の統合年度の決定というところで、決定した年を令和3年11月としておりましたが、令和4年6月に訂正しております。令和6年4月の統合が決定したのは、令和4年6月の第6回市島地域市立小

学校統合準備委員会で承認されたということになります。今回訂正資料として配付しておりますのでご確認をお願いします。事務局からは以上になります。

(山川委員長)

ありがとうございました。前回の報告と訂正事項がございました。この件につきまして、何かご意見やご質問ありませんか。

(なし)

(山川委員長)

はい、それでは次に進みます。次に、黒井・船城地域部会からの報告事項になります。委員、よろしく願いいたします。

次第

3 黒井・船城地域部会から報告・協議事項

(山田副部長)

それでは、資料2をご覧くださいと思います。春日地域市立小学校統合検討委員会黒井・船城地域部会からの報告事項としてご報告させていただきます。第1回の黒井・船城地域部会が10月17日に開催されました。協議内容ですが、地域部会の設置に係る設置要綱の改正について、事務局より説明を受けました。部会長、副部会長の決定ですが、委員の互選により、部会長に黒井地区自治会長会会長の山川茂則氏、副部会長に船城地区自治会長会会長の山田吉晴氏に決まりました。部会のメンバーや住民学習会、今後の協議事項について委員で意見交換を行いました。委員から出た意見としまして、部会のメンバーを増やすべきではないかという意見、現在のメンバーで協議出来るところまで協議を進めていって必要があればメンバーの追加を検討すればよいという意見が出ました。また、住民や保護者の学習会の開催に関する意見が出ておりました。

最終的に第1回の決定事項、まとめとしましては、正副部会長の決定と、次回会議までに次の2点について事前に事務局に報告し、そこで出た意見や提案をもって次の部会で協議することに決まりました。まず1点目は、地域部会として今後協議する必要がある内容について意見や提案をいただきたいということ、次に2点目は、委員個人として知りたいことや不安に思うことについて意見、提案をいただきたいということです。ここで出た意見や提案を事務局でまとめていただいて、次回の会議の協議事項とすることになっています。第2回の地域部会につきましては、12月17日(水)19時30分から、ハートフルかすがで行うことになっています。

(山川委員長)

ありがとうございました。委員より地域部会の報告がございました。この件につきまして、何か質問やご意見ありますか。

(なし)

(山川委員長)

次は、報告・協議事項ということで、「今後の春日地域市立小学校の在り方」について意見交換ということで5テーブルに分けさせていただいておりますので、付箋紙に意見を書いていただいたりして、それぞれの意見を言っただけだったらと思いますのでよろしくお願いします。司会については事務局お願いします。

次第

4 報告・協議事項

(1) 『今後の春日地域市立小学校の在り方』について意見交換

(足立教育総務課長)

「今後の春日地域市立小学校の在り方」の意見交換について説明させてい

たきます。このあとグループの中で意見交換していただいて、最後に発表をお願いしたいと考えています。あらかじめ、地区や所属団体ができるだけばらばらになるように、4人から5人程度のグループ分けを事務局でさせていただきます。そのグループで、「今後の春日地域市立小学校の在り方」をテーマに意見交換いただきたいと考えております。

意見交換につきましては、各テーブルに付箋紙、マジック、模造紙を用意しています。付箋紙に意見を書いていただいて、その付箋紙を模造紙に貼っていただきながら、グループ内で意見交換いただければと思います。各グループの司会進行につきましては、申し訳ございませんが、自治会長会の会長にお世話になればと考えております。意見交換のテーマは、先ほど言いましたように、「今後の春日地域市立小学校の在り方」です。今までの会議を通じて委員の皆様が思われていることや気になっていること、疑問点等どんな意見でも結構かと思えます。また、テーマに沿っていなくても結構です。忌憚のないご意見をお願いしたいと思います。

意見交換にあたって、いくつかのルールがあります。参加されている皆様のためのルールでございますので、ご了解いただき、守っていただきますようお願いいたします。

別紙として「話し合いのルール」を配付しています。年齢に関係なく、誰もが等しく話し合いに参加をお願いします。ご自身とは違う考えや思いも出てくるかと思えます。一人ひとりの考えを大切にし、その考えに対して否定したり、話を遮ったり、意見を押し付けたり、そして話を独占したりすることがないようにお願いしたいと思います。意見の違いもあろうかと思えますが、そのまま受け止め、批判をせず、同じことと違うことを受け入れて話し合いをしていただきたいと思えます。また、誰々がこのような話をされたということを他の場所等と言わないようにしてください。資料に記載していますように、どんな話をしていても間違いはありませんし、そのようなことがあれば今後の会議においても意見を出しづらいということにもなります。安心して安全な雰囲気の中で気持ち良く話せることを大事にして意見交換をしていただければと思いますのでよろしくをお願いします。意見がまとまってなくても結構かと思えます。思われたことを発言いただいたらと思えます。一度言ったことでも意見が変わることもあろうかと思えます。そういったことも結構ですので、何でも話せるような環境の中で意見交換していただければと思います。繰り返しになりますが、委員の皆様が安心して気持ち良く意見を言えるような場にしてください。

最初に自己紹介をしていただいて、次に、グループで出た意見を最後に発表する方を決めていただきたいと思えます。その後、付箋紙に意見を書いていただく時間をとっていただいたのち、意見交換に入っていただければと思います。意見交換は20時30分を目途にさせていただければと思います。意見をまとめていただく必要はありません。発表される方はグループで出た意見を情報共有として発表いただければと思います。それでは、グループで意見交換をお願いします。分からないことは職員にお尋ねください。よろしくをお願いします。

グループごとに意見交換（A～Eグループ）

（足立教育総務課長）

20時30分まで残り5分になりましたが、まだまだ意見が出ているようでございますので、20時45分まで延長させていただきます。グループの意見をまとめていただく必要はありません。出た意見をお伝えいただければと思います。

グループ発表

(足立教育総務課長)

それでは、時間になりました。ご意見はまだたくさんあろうかと思いますが、一旦ここで意見交換については終了させていただきたいと思います。ありがとうございました。

それでは、グループごとに、出た意見を発表していただきたいと思います。こういった意見が出たということで発表いただけたらと思いますので、よろしく願いいたします。Aグループのほうから順番によろしく願いいたします。

(委員)

Aグループ発表させていただきます。よろしく願いいたします。

Aグループとしては、最初に小学校の在り方について、どういうふうにしていくかという話をしておりましたが、今の黒井、船城の話だけではなく、将来的なことを見据えて黒井・船城で西部、進修・春日部・大路与東部を考えながら、最終的には一本化ということも頭に置いておかないと、また新しく部会をつくる、検討委員会をすとなつたら、かなりの労力と時間も必要となってくるので、せつかくこういう良い機会ができてい間に、そういうところも考えていくべきではないかという話が出ました。

また、地域の合意形成について、順序や方法もしっかりまとめていかなければいけないなというふうに思いますし、また将来的に、例えば小中一貫校という形で、例えば中学校の隣に小学校を建てればいろんなことができるし、すごくスムーズにできるのではないかなという話も出ました。

また、統合するともし決まった場合に、統合するまでに統合準備委員会等を挟むとかなりの時間がかかると思います。今も年に数回行われていると思いますけれども、その間に子どもたちの交流会というのをもっと頻繁に活発にやって、(子どもたちも)このメンバーでやっていくという意識付けをしていったほうが、よりスムーズで子どもたちの心の迷いもなくなるのではないかなというふうに考えております。

あとは、こどもの意見を聞くのもどうかという話も出ておりました。ただそれは全部が全部それを鵜呑みにするというのはなかなか難しいので、あくまでも参考という形で、次に上がってくる1年生や、卒業する6年生の話を少しかいつまんで、情報として取ればいいのかというふうに思います。

最後に出てきた意見は、統合後の地域をどうするのかという話が出ました。統合後、小学校がなくなるということになると、やっぱり地域交流をする場というのがなくなってしまうと思いますし、またその後の管理等を自治会にお願いされるということもあるので、地域交流がなくなるというのは、地域がどんどん廃れていく理由の1つにもなってくるかなと思いますので、そういったところも考えていく必要があるかなと思います。

また、今後自治会としても、保護者としてもどうしていくかという話で、説明会をするのが先なのか、それともアンケートをするのが良いのか、今のところどうするのが良いのか、どういうふうにしようかなというのは、すごく自治会としてもPTAとしても迷っているところかなと、少し不安な意見が最後に出てきたので、報告させていただきます。以上です。

(足立教育総務課長)

ありがとうございました。

続きまして、Bグループのほうから報告をお願いします。

(委員)

それでは、Bグループの発表させていただきます。よろしく願いいたします。

Bグループでは、題目がぼやっとした感じだったので、2項目について話し合いました。

まずは、小学校の在り方を考えるにあたって、どういうことをしたらいいのかということで、勉強会をしたいという意見です。まずは有識者や民生委

員、児童委員の人など、こどもたちに一番触れ合っている方たちに今のこどもたちの現状の話聞いて、統合に関してメリット、デメリットはどうかがあるのかについて、一番こどもに触れ合っている方の意見を聞くという意見です。また、統合した学校の見学や統合準備委員会に入っておられたメンバーの方との意見交換会、統合した学校のこどもや保護者、先生の話聞く場を持ちたいということで意見が出ました。

もう1項目は、認定こども園についてです。春日地域は認定こども園が2地区に分かれています。どうしてこのようにこども園ができたかという経緯を考えていくと、今後の春日地域の小学校のことだけじゃなくて、こどもたちのことが何か分かるのではないかと思います。あと、地区分けをされるときに、何でこういう地区分けになったかという経緯を勉強したいなという話が出ました。認定こども園が2つに分かれていますので、黒井と船城が一緒になるのであれば、森の子園の春日部、進修、大路がまず1つになって、そこから今後（春日地域で）1つになるのか、どうするのかは置いて、まずは花の子園と森の子園単位で考えてみてはどうかという意見が出ました。以上です。

(足立教育総務課長)

ありがとうございました。
次にCグループのほうからお願いします。

(委員)

Cグループ発表させてもらいます。よろしくをお願いします。

Cグループで出た意見をまとめまして、将来的に20年、30年、40年先になるかもしれませんが、春日町で1校という話でまとまっております。将来的には1校という話ですけれど、それまでは、春日地域以外の隣接の小学校の統合も考えてもらってもいいのではないかという意見も出ております。各町単位の中での統合という話になるかもしれませんが、丹波市内で考えるのであれば、そういった統合の方向性というのも有りなのかなという意見も出ております。また、こどもが通いたい学校に自由選択してもいいよというのも、1つの手法なのかなという意見も出ております。

また、統合した後に関する意見としましては、春日地域の中で今は5つの小学校があるけれど、その5つの小学校ごとに地区の歴史や特色があると思います。各小学校でそれぞれの特色をいかすような教育をされているとは思いますが、統合した先でも各地区の特色を学べるような教育をしてほしいという意見もあります。

基本的なところになりますが、統合してもこどもたちが楽しく学べる環境、これが一番大事なのではないかという意見があります。また不登校児童も一定数おられるというところで、そのフォローもできるようにしてほしいです。

統合しますと人数が多くなりますので、授業や学校生活を多人数ですることこどもたちが社会性を育んでいけるような教育をしてほしいという意見もありました。

あと、どんな統合になっても、丹波市教育委員会が対応してくれるであろうというところで、心配はないですよっていうのが、Cグループのまとめた意見でした。以上です。

(足立教育総務課長)

ありがとうございました。
それでは、Dグループのほうからお願いします。

(委員)

Dグループです。Dグループでは、それぞれ4名の方が自分の考えを付箋紙に書いて、それを発表していったわけですけれども、それをまとめていくと4つの項目に分類できるということでまとめております。

まず1点目は、統合に向けてということです。それから2点目は、今後の地域の在り方がどうなっていくのか。それから3点目は、こどものことを考えてこどもを中心に考えていく。4点目は、地域住民の方の意見も今後聞いていきたい。分類するとこの4つの傾向に分かれてくるということで、まとめさせてもらっております。

1点目の統合に向けての内容といたしましては、今後10年、20年後には、やはり春日で2つの小学校ぐらいになるのではないかとというような意見です。認定こども園が森の子園と花の子園に分かれているので、このセットで統合してもいいのではないかとというような意見も出ております。

それから、大路、進修、春日部も、今すぐではないけれども、やはり今後統合することも少しずつ考えていかなければならない時期に来ているということ。やはり最終的には春日地域で1校の小学校というような意見も出ています。また、地域の中で統合を何回も繰り返していると、費用もかさんでいって、校歌等も何回も作り直さなければならないというようなことになるので、春日地域で1校も視野に入れればどうかというようなことで意見が出ております。

2点目の地域の在り方から考えた場合について、地域から学校がなくなると地域が衰退するというような心配がありますけれども、以前ほど心配は少なくなってきたように思われます。また、現在の人口減少や高齢化率の上昇を掛け合わせると、若い人が極端に少なくなってくることが考えられます。やはり学校の規模もその大きな要因になってくのではないかと、若い人が少なくなってくる中でそういったことも考えられるという意見がありました。人口減少が進んでいくと、この春日地域、5つの地区、そして50近くある自治会の境界が、もうなくなってくるのではないかなという思いです。そうなくなると必然的に学校区の境界もなくなってくるのではないかと。自治会運営が現実的にできないような自治会もあると聞いておりますので、将来的にはこの地域の中の境界がなくなってくるのではないかとというような意見が地域の在り方で出ております。

あと、こどものことを考えてということについて、統合に向けては地域住民の意見もさることながら、こどもやその保護者の意見を優先して考えるべきじゃないかと。また、船城と黒井は少しでも早く統合をされるべきだと、大人の気持ちやプライドを優先するよりも、こどもたちのことを一番に考えるべきであると。また、メリット、デメリットを追求していっても、それはやはり表裏一体なので、こどもを中心に考えて、この話を進めていくべきではないかというふうなことが出ています。

それから、地域住民の意見を聞きたいというような項目では、地域の自治会等の意見が想像できないというところで、その地域の住民の意見を聞くことで、視野が広がってくるのではないかとということで意見を聞いてみたいと。また、これまでに大路小学校第一、第二小学校の合併があったわけですが、こういう歴史も勉強したらどうかというようなことで、地域住民の意見も聞きたいという項目に挙げております。以上でございます。

(足立教育総務課長)

ありがとうございました。
それでは、次にEグループ、よろしくをお願いします。

(委員)

Eグループの発表をさせていただきます。
Eグループは、メインテーマである「今後の春日地域小学校の在り方」に則って話し合いをしました。個別具体的な話はしておりません。
まず、最初に小学校の在り方とはどのようなものかということですが、提案としましては、春日で1つの小学校でいいのではなからうかと。場所も中学校の横、そこに作れば良いのではないのでしょうか。今、複式学級等の関係

で統合の話をしています。これは仮定ですけれども、極端な話、どうせ将来統合するんだったら、5校区に小学校がありますけれど、これを大学のキャンパス制度みたいに存続しておいて、新たに学校を先に作ってみよう。こどもの人数もどんどん減ってきますから、今は小学校と中学校に分かれていますけれども、小中一貫9年制の制度でやっていただけたらどうかということでした。

なおかつ並行してこの検討委員会は船城小学校の件で動いております。今、黒井地区と話をしていますけれども、例えば、全体的なことを考える場合は、委員会制度みたいなものを作って、その中で校章をどうしようとか、校歌をどうしようとか、それから場所はどこにしようとかありますので、これは地域部会も関係しますけれども、全体でもこの委員会的なものをつくっていただいて個別に考える。今、船城と黒井が統合検討していますけれども、この検討委員会は他の3校区も入っていますので、この春日地域で1校の形で先に検討してくださいと。同時並行で動いたらどうでしょうかということ、話合いました。簡単ですけれど、以上です。

(足立教育総務課長)

大変ありがとうございました。

今日はたくさんの意見が出たと思います。この場でとりまとめることはしませんが、今回の意見を基に、次回の会議でまとめ等をさせていただきたいと思います。

また、次回会議の内容につきましては、委員長と相談させていただいて、会議を進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。大変長時間意見交換ありがとうございました。

それでは、席はこの状態のままで、以降は委員長にお願いしたいと思いません。

(山川委員長)

皆さん、貴重なご意見いろいろありがとうございました。

事務局にお聞きするのですが、本日の意見はまとめていただけますか。はい、分かりました。それでは、今回の意見をまとめまして、皆さんに周知させていただき、今後の検討委員会の材料として進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。それでは、(2)その他について事務局お願いします。

次第

(2) その他

(足立教育総務課副課長兼企画総務係長)

各団体においては、そろそろ次期役員の話が出てくる頃かと思っております。この検討委員会は、それぞれの団体組織の代表として出席していただいておりますが、役員改選によって、この検討委員会の代表者も変わるという場合もあるかと思っておりますので、報告いただきたいと思っております。来年の2～3月頃に、正式に依頼させていただく予定としておりますので、あらかじめ御承知おきくださいますようお願いいたします。

次に、「検討委員会だより」についてでございます。これまでの委員会でも話が出ていましたが、他地域における過去の統合協議におきましては、準備委員会が立ち上がった段階以降で、「統合準備会だより」を発行していた経緯がございますが、この春日地域の検討委員会においては、この検討委員会の段階から「検討委員会だより」を発行して周知したほうが良いのではないかとご意見をいただいております。これまで協議いただいた内容や経過につきまして、「検討委員会だより」を発行していきたいと思っております。発行時期については、未定でございますが、記載内容につきましては、正副委員長と確認を取りながら、事務局のほうで案を考えていきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。以上でございます。

(足立教育総務課長)

補足でございます。「検討委員会だより」につきましては、各地区自治協議会を通じて各自治会に配布をお願いしたいと思っておりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

もう1点、委員の改選について補足です。委員の改選につきましては、これからそれぞれの団体で選考ということになるかと思いますが、設置要綱では、委員はそれぞれの団体の代表ということであって、必ずしも会長でなければならないということではありませんので、そういったことも踏まえて委員を検討いただけたらというように思っておりますのでよろしくお願いいたします。

(山川委員長)

ありがとうございます。

「検討委員会だより」の発行時期は未定と言われましたけれど、事務局忙しいと思っておりますが、早い時期に発行していただければ嬉しいなと思っております。

次第

5. 次回委員会の日程

(山川委員長)

では、次回委員会の日程について、事務局お願いいたします。

(足立教育総務課長)

次回の委員会でございますが、今日のご意見等をまとめた内容を含めて、会議を開かせていただきたいと思っております。2月10日(火曜日)又は2月12日(木曜日)に会場を仮予約しておりますが、いかがでしょうか。

特にこの日は都合が悪いということがなければ、2月10日(火曜日)に開催させていただきたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

それでは、次回2月10日(火曜日)、19時30分からハートフルかすが、大会議室ということで、お世話になりますがよろしくお願いいたします。

次第

6. 閉会

(山川委員長)

ありがとうございます。それでは、だいぶ先ですけれど、2月10日(火曜日)に第4回検討委員会開催予定で、よろしくお願いいたします。

(植木副委員長)

今日は皆様お疲れ様でした。これまでは20数人で1人ずつ話すと、その中でなかなか意見が言えないことがあったと思うのですが、今日のグループワークはすごく活発に意見が出ていましたし、こういうのは大事だなと思っております。

今後ご意見の中で、委員会制にするとか、そういった小グループで、来ている人全員が意見を出すという機会も大事だなと改めて思いました。

船城地区と黒井地区で部会もしていますが、この春日地域の小学校の在り方は大事になりますので、それを踏まえた上で、3か月空きますけれど、皆さん意識していただいて、できるだけ良い会になればと思っております。本日はお疲れ様でした。